



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!

巨大弥富金魚イルミネーション

12月10日から1月31日まで、近鉄弥富駅南口ポケットパークにて「巨大弥富金魚イルミネーション」を行いました。

今年で4回目となるイルミネーションは、市観光協会が主催、市広報大使のやとみまたはちさんが企画、デザインを考え、市内の小中学校の児童・生徒の皆さんと協力して作成しているものです。

今年は日の出小学校、桜小学校、弥富中学校の児童・生徒の皆さんが代表して、ペットボトル1つ1つに色を付け、弥富市の将来について願いを込めて作成しました。

ペットボトルには、「市民が元気にくらせる町になりますように」「苦しい思いをする人が少なくなりますように」などさまざまな思いが込められたイルミネーションとなりました。



金魚初市

1月12日、東海観賞魚卸売市場にて、弥富金魚初市が行われました。

今年は、「カンコ」と呼ばれる木枠の中に入った色鮮やかな20万匹の金魚が威勢の良い掛け声とともに競り落とされました。

この日の最高値は、サラサワキンが1匹9,100円で競り落とされました。



ちょっと一息
“防災”

防災クイズに挑戦してみませんか?

問題 地震発生直後の避難方法で、最も適切なものは?

① 近所の人と声を掛け合って避難する

② 一人で身軽に避難する

③ 避難生活に備え、持てるだけもって避難する

答えはP15の下をご覧ください。

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



やとみの 八一三の塔

おみよし松から「金魚のまち散策コース」のゴールの近鉄弥富駅に向かいます。

近鉄弥富駅の歴史は昭和13年の関西急行電鉄の開業に始まり、6年後に近鉄弥富駅となりました。平成6年には愛国国体の開催にあわせ橋上駅舎が完成し、3年後に南口のロータリーとモニュメントが整備されました。

このモニュメントは「やとみ」にちなんで高さを8m13cmとし「八一三の塔」と名付けられました。側面には、弥富特産の金魚が泳いでいるようにデザインされ、まわりには4羽の文鳥が愛らしく表現されています。



八一三の塔

市長の部屋



寒さが緩み、本格的な春が訪れる3月は、花見月と呼ばれるほど梅、桃、桜をはじめ、たくさんの草花が咲き誇る季節です。

皆さまにおかれましては、一層ご健勝のことと存じます。

依然としてコロナの収束が見通せない中ではありますが、本市でも小学校、中学校の卒業式、保育所の巣立式が行われます。

児童・生徒の皆さんには、ここ2年ほどコロナ禍で何かと制約が多い日々が続いておりましたが、学び舎での思い出を大切に、新たなステージで輝きを放つことを期待しています。

結びに、年度末を控え、何かと慌ただしくなりがちですが、どうかご自愛ください。

弥富市長 安藤正明